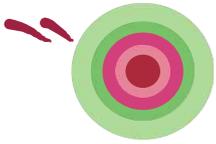




嘉手納基地で働く様々な職種の日本人従業員にスポットをあてて紹介して行くコーナーです。今回はこの方々にお話をうかがいました。



第18航空団 安全局 地上安全部

安全計画管理職 ^{たいら} ^{そのこ} 平良 園子さん



SpotLIGHT!

Q1. あなたの職種と仕事内容をお聞かせ下さい。

安全計画管理官です。地上安全部の重要な任務は、事故の未然防止です。仕事の内容は、嘉手納基地内の建築物の検査、各職場内の安全計画の査察、米軍人・日本人従業員並びに請負業者を対象とした基地内の安全に関する講習をし、事故が起こらないように、起こさないように教育・訓練を実施します。また、労働災害事故の調査及び報告をすることも大切な仕事です。

着工前の建築物の図面には、必ずこの安全部の承認が要求されています。例えば、階段の幅、手すりの高さなど米軍の安全基準や必要条件に適しているかなどを確認します。安全基準や必要条件は、建築する場所において異なりますので、弾薬倉庫地区や滑走路周辺などに建設するときは、その基準に照らし合わせながら確認作業をします。パートナー部隊、空軍以外の軍隊、米国防省管理の学校などが嘉手納基地内にあります。嘉手納基地内にあるこれらの部隊が使用している建物、学校敷地内の遊び場などの検査等は、命令系統では管轄外ですが、当安全局が行っています。

第18航空団傘下の全ての部隊を対象に、年に1度、安全計画の査察を行います。空軍安全計画の骨子に沿って各職場の計画が作成されているか、その作成された計画に沿った研修などを実行し必要条件を満たしているか、安全掲示板に必要書類が掲示されているかなどを確認します。基地内道路で工事を行っている作業員が、手順を踏んで作業を行っていない様子が見られた場合なども含め、事前通告なしで、突然、検査を行うこともあります。

安全講習は、主に日本人従業員を対象に行っています。新規採用従業員に、米空軍の安全基準や基地内と外での交通規則の違いなどについて説明します。また、日本人従業員監督者への安全講習も行います。同様に、請負業者の工事着工前会議に参加し、業者の従業員に基地内の交通規則はもちろん、作業をする際に必要な許可申請書類提出手続きなどの説明もしています。

(写真全て、米空軍：ブルーウ・ピアース上等兵撮影)



基本的には労働安全のための機関ですが、基地全体の安全管理も責任範囲ということで、「安全」と名のつくことの、ありとあらゆることをします。確認箇所を決めて、シートベルトをしていない人や、運転中に携帯を使用している人を数えて統計を出したり、時には、憲兵隊と連携し、憲兵隊が違反者に注意勧告を行うという事態もあります。「庭の木が危険だ」とか、「駐車場の歩道の高さが高すぎるのでみてくれ」などの基地内住宅関係の連絡を受ければ、確認に出向きますし、軍人が運動のため走る走行経路の安全確認なども行います。

Q2. 職場のスタッフ構成は？

空軍兵13人、米国人従業員1人と日本人従業員1人です。私の所属する地上安全部の空軍兵は、地上安全性管理を専門分野とする空軍兵が勤務していますが、安全局長には、F-15戦闘機のパイロットが任命されることが殆どです。嘉手納基地に常駐する各種航空機のパイロット、航空機主任整備士など、分野の異なる専門知識をもった軍人が配属されます。

Q3. この職場に勤めてどのくらいですか？

10年目です。

Q4. どういう点に仕事のやりがいがありますか？

18 WG/SEG

労働災害などの事故件数の減少が見られることに、やりがいを感じます。この職場に勤務し始めた頃に比べ、事故件数がかなり減少しました。一時期多発した請負業者従業員の事故も減少していますし、日本人従業員の事故件数が激減したことが嬉しいです。これは各職場の安全管理担当者の方々の協力のおかげです。私の役割は、各職場の担当者から連絡を受け統計を出すことですが、一番大変なのは、各職場の現場担当者の方々だと思います。

Q5. この仕事の大変さについて。

事故がまったく無くなるというのはとても難しいことだと思いますが、事故をできる限り減らすための事故防止をするということが最大の目的であり、課題です。事故には全て原因があります。事故を防ごうと思えば防げるはずですが、なかなか防げそうで防げない。不注意や仕事の手順違いなど、「あの時、これをしていなければ、事故は起きなかったはずなのに」ということが多々あります。急ぎの仕事でも、事故につながらないようにしなければなりません。その時、回り道だと思っても、とるべき手順をしっかり守り、規則を守って、安全に仕事に励んでもらいたいと思います。



(写真全て、米空軍：ブルーク・ピアース上等兵撮影)

Q6. アメリカ人と働く環境での一番の課題は何ですか？

英語での意思疎通です。安全部内でも多少ありますが、各部隊に検査に行ったときなど、日本人の安全担当官に指摘されることに対して、あまり快く思われない場合があります。その時に、しっかりと説明ができるようにならなければならないと思います。安全管理に関する専門用語だけではなく、検査先の部隊の運用規則に関する専門用語なども理解するために、事前にその規則に目を通しておき、説明できるように努力していますが、まだまだ不十分だなと感じています。直属の上司や同僚に関しては、これまでずっと恵まれていると思います。特に現在の上司は、とても温和で和を大切にされる人だということに加え、お互いに心がけて、意思の疎通をはかるようにしています。時折、理解できないことや、意見の食い違いなどあった場合でも、その場でよく話し合っ理解しあえるようにしています。今、一番良い状態で仕事をする事ができています。

SONOKO TAIRA!
Safety Program Administrator

Q7. 軍の仕事で感じる相違点は？

研修制度や研修資料が充実しているということです。この仕事では、空軍兵が受ける研修と同様の研修を受けることを要求されますが、米国本土や横田基地などで行われる研修に参加したり、空軍のネット上にあるオンライン研修などを数多く受けることができるという点です。また、土・日にお休みをいただけるということは、いまだに嬉しく思います。



Q8. 同じような職種に就こうと考えている方へのアドバイスは？

私が前任者から頂いたアドバイスですが、「最初の10年は、勉強だと思いなさい。」です。アドバイスを頂いたとき、10年は長いなと思いましたが、これまで本当に一にも二にも勉強、という感じでやってきました。そして10年が経ち、頂いたアドバイスの意味がようやくわかる気がします。日々、様々な事柄が持ち込まれますが、それに対応していくために様々な知識を持っていなければなりません。空軍規則や、米国の労働安全衛生法から遊び場や身障者施設に関する規則など数多くあります。最近になりやっと、この事項にはどの規則の、何の項目を参照すればいい

のかがわかるようになってきました。また、日本の安全衛生法などもそうですが、毎年のように変更があります。全てを覚えるというのではなく、調べ方がわかるようになれば仕事はかどると思います。

18th Wing Safety Office

SpotLIGHT!
SpotLIGHT!
SpotLIGHT!

第18航空団司令官、空軍兵に訓示

第18航空団広報局

6月3日第18航空団司令官に就任したマット・モロイ准将は、7月5日・7日・8日の3日間をかけてコマンドー
ズコール（commander's call：司令官による訓示）を
キーストンシアターにて行い、航空兵らに航空団の任
務、優先事項、政策に関して直接話しかけました。



初めに、米国空軍第18航空団の航空兵としての任務に関して「航空兵としての諸君の任務は、大気圏、宇宙空間あるいはネット空間において飛行し、交戦し、勝利することだ」と語り、「我々は、それを前方展開戦略基盤である嘉手納基地を拠点に実行している。諸君が太平洋地域の要石であり、米国の卓越した戦闘航空力である。我々は、日本政府との合意に基づきこの地域の利益を支援することを相互に誓約している。この2国間の条約は非常に重要である。」さらに司令官としての優先事項として、「司令官としての私が優先することは実に単純明快である。先ず任務遂行であるが、その任務を実現するのは人である。航空力とは、各々の航空兵の力であり、諸君が航空力を発揮させることができる。」航空団の政策と規範に関して、准将は「諸君は親善大使であり、また戦略的航空兵である。フェンスの外での諸君、諸君の子供たち、そして諸君の行いは、良い意味でも悪い意味でも、結果として戦略的な影響を及ぼす。フェンスの外での過ちは、第5空軍や太平洋空軍ばかりでなく、ワシントンD.C.、国防長官、さらには米国議会のいたるところにでも影響をもたらす。行動する際には、十分に留意して欲しい」と、語りました。また地元社会の人々との関係、パートナーシップ、親善交流の大切さにも触れ、積極的に基地の外へ出かけ地元の人々と交流するよう勧めました。その他、飲酒運転、薬物使用、犯罪と過ち、公務中・公務外におけるリスクの管理、平等な雇用環境、監査・評価の仕組み等についても隊員に語りました。

(写真全て、米空軍：ブルーク・ピアース上等兵撮影)



空軍ボランティア、英会話で文化交流

第18航空団広報局

2011年7月15日、嘉手納基地のボランティア5名は、嘉手納町立嘉手納外語塾の2年生11名と英会話で文化交流を行いました。外語塾生はボランティアに出身地や好きな食べ物、家族構成、趣味や特技等を英語で聞きながら聞く力、話す力に磨きをかけました。ボランティアたちは沖縄に5年以上住んでいる人もいれば、2ヶ月前に来沖したばかりの人もおり、出身地



も沖縄での経験も様々。沖縄や日本の観光地、食べ物の事などを塾生から聞きだし「今週末、君が紹介してくれたレストランに行ってみるよ」「僕の出身地はここなんです」などとiPhoneで地図を見せながら話すボランティアもいました。東日本大震災にも話が及び、ボランティアの中には実際に仙台空港に行って滑走路再開に向け支援を行った隊員もあり、被災地での様子も話題に上りました。

VOLUNTEER @ KADENA LANGUAGE INSTITUTE



新司令官紹介

第18航空団広報局

Change of Command 18 WG/CV & 18 MXG/CC



18 WG/CV

嘉手納基地の部隊幹部は約2年おきに交代します。去った6月3日、第18航空団司令官にマシュー・H・モロイ准将が就任しました。今年とは同時期に、同航空団副司令官も交代となり、コーリー・A・マーティン大佐が5月に着任しています。マーティン大佐の略歴はC-141及びC-17機の検査官・空中投下航空機司令官、航空団安全部長、中隊司令官、そして、主要集団及び戦闘集団などの上層司令部において、様々な職務を歴任しました。ドイツ、シュトゥットガルト在、米国欧州軍にて戦略部長を務め、第18航空団副司令官となりました。また、C-17、C-141、及びKC-135機を操縦する現役上級パイロットで、3,700時間以上の飛行時間を持っています。

第18航空団を構成している5個群のうち、第18整備群司令官の交代もありました。新司令官は、ブライアン・R・ビーズ大佐です。ビーズ大佐は、2005年から2007年に嘉手納基地に赴任した経験を持ち、第718航空機整備中隊司令官を務めました。直前職は、在ドイツ、ラムスタイン空軍基地在欧米空軍司令部、航空機整備システム部長でした。

群の下部組織である中隊は第18航空団配下に27個ありますが、今夏11人の新司令官が着任しています。

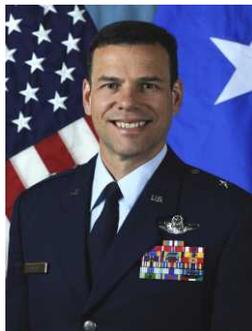


18 MXG/CC

第18航空団組織図

(2011年7月現在)

第18航空団司令官



Brigadier General
Matthew H. Molloy
マシュー・モロイ准将

第18航空団副司令官

Colonel
Corey J. Martin
コーリー・マーティン大佐



第18航空団最上級曹長

Chief Master Sgt.
James E. Davis
ジェームス・デイビス
上級曹長



18TH WING



第18運用群



18th Operations Group

Colonel
David S. Nahom
デイビッド・ナーホム大佐



18th Operation Support Sq.
第18運用支援中隊

44th Fighter Squadron
第44戦闘中隊

67th Fighter Squadron
第67戦闘中隊

909th Air Refueling Sq.
第909空中給油中隊

961st Airborne Air Control Sq.
第961航空空中官制中隊

33rd Rescue Squadron
第33救難中隊

31st Rescue Squadron
第31救難中隊

18th Aeromedical Evacuation Sq.
第18航空医療搬送中隊

623rd Air Control Flight
第623空中官制小隊

第18任務支援群



18th Mission Support Group

Colonel
Rofitel Constantine
ラフティール・コンスタンティン大佐



18th Force Support Sq.
第18部隊支援中隊

18th Security Forces Sq.
第18憲兵中隊

18th Logistics Readiness Sq.
第18兵站即応中隊

18th Contracting Sq.
第18契約中隊

18th Communications Sq.
第18通信中隊

第18整備群



18th Maintenance Group

Colonel
Brian R. Beers
ブライアン・ヒアーズ大佐



18th Maintenance Sq.
第18整備運用中隊

18th Aircraft Maintenance Sq.
第18航空整備中隊

718th Aircraft Maintenance Sq.
第718航空整備中隊

18th Component Maintenance Sq.
第18構成部品整備中隊

18th Equipment Maintenance Sq.
第18装備品整備中隊

18th Munitions Squadron
第18弾薬中隊

第18医療群



18th Medical Group

Colonel
Barbra B. King
バーバラ・キング大佐



18th Medical Support Sq.
第18医療支援中隊

18th Medical Operations Sq.
第18医療運用中隊

18th Aerospace Medicine Sq.
第18航空医療中隊

18th Dental Squadron
第18歯科中隊

第18施設群



18th Civil Engineer Group

Colonel
Brian Duffy
ブライアン・ダフィー大佐



18th Civil Engineer Sq.
第18施設中隊

718th Civil Engineer Sq.
第718施設中隊



AS OF 29 JULY 2011